

事業報告書

令和5年1月1日から令和5年12月31日まで

特定非営利活動法人 隠岐しぜんむら

1 事業実施の内容

隠岐の自然環境を保全するための活動として、生物調査・保全活動・環境教育・エコツーリズムを行いました。自然専門機関としての能力を高め、地域資源を発掘し活用することを通して、自然を生かした地域づくりに貢献し、地域住民が受益者となることで、さらに自然が保全されるという循環をつくり出すことを目指して各事業を実施しました。

自然環境教育の強化を目的とした活動の一環として、森のようちえん「お山の教室」事業もさらなるステップアップへ移行するため行政機関との協議を盛んに実施し、「こども園」への移行の道筋を構築し、団体運営の基軸と一つになるよう安定化に向けて努めました。また、環境教育の出前授業として、西ノ島の保育園の未就学児を対象とした自然観察体験会や海士町、西ノ島町の小学校、中学校、高校への年間50日以上授業を実施しました。

国の施策による新型コロナの5類への移行の中、エコツアーガイド事業や交流事業など島外者の来島が増加し、昨年度に比べるとガイドや施設利用への要求が高まりました。このような動きの中で、職員のガイド力向上のための研修参加や交流事業の効率化など各事業を推進しました。

(1) 自然環境保全事業

環境省や、保全調査活動を専門とする公益財団法人と連携し、隠岐の生物調査を実施しました。また、公共工事に対する環境アセスメント調査も行いました。

- ① 鳥類調査について、前年度に引き続き鳥学会鳥類目録第8版発行に向けた隠岐地域の調査として、島前地域のみならず島後地域についても調査を強化しました。この中で、新知見の記録保持を目的として、隠岐の島町と海士町内で確認した初確認種及び記録の極めて少ない種を論文としてまとめ連携する研究機関の研究報告に寄稿しました。また、調査活動報告としては、隠岐の文化財へ隠岐島前地域の鳥類相について取りまとめたものを執筆寄稿しました。

毎年実施している継続的な調査として、鳥類標識調査について、渡り鳥の通過状況の把握のため、海士町金光寺山にて春、秋の2シーズン実施、海士町中里地区で秋期に10日間を行いました。

- ② 昆虫部門の調査では、年間を通して昆虫サンプルの捕獲を行い隠岐の昆虫目録作成のための資料収集に努めました。
- ③ 地域住民を対象とした自然保護の啓発活動としては、昨年度に引き続き助成金事業を活用してハンドブックを制作しており、第4弾として隠岐・海士町のSDGsについて取りまとめたハンドブック発行の準備を進めました。令和6年3月に発行予定です。また、主催事業として自然観察会形式で野草体験会や野鳥観察会の2回実施しました。
- ④ 当団体の自主的生物保全活動として、金光寺山のオニヒョウタンボクとホテルカブラ及び諏訪湾の葦原の保全活動、当団体が全面的にサポートしている隠岐島前高校生の自然保全サークルと連携して外来植物の駆除活動を実施しました。また、海士町教育委員会と協働し、国内唯一の自生地となるタケシマシウドの保全活動も実施しました。
- ⑤ 環境省との連携事業では、一昨年度に西ノ島町星神島でドブネズミの侵入を確認

したことから、緊急的な対策として当団体が委託を受けて殺鼠剤散布によるドブネズミ駆除活動を実施しました。

(2) エコツーリズム事業

新型コロナウイルスの影響は少なくなってきており、昨年度に比べてガイド業務や自然体験数は1.3倍の増加があり、来年度の予約も増加傾向にあります。コロナ禍以前の団体中心の観光形態から、少人数または個人中心の観光形態へ移行したことにより、隠岐しぜんむらの実施している環境保全の視点及び地域の特性を伝える手法と相性が良かったため、需要が増加したと考えられます。

今年度は隠岐DMO及び島内の観光事業者である(株)島ファクトリー、(株)海士、(株)JTB、(株)FoundingBase等と連携し、各事業所の目的に合わせたツアー及び体験を実施し、隠岐諸島内での新たな観光事業体制の構築に貢献できました。特に(株)海士とは連携を強化し、地域の体験に特化したオープンアイランドツアーで「崎地区での地域住民との交流ツアー」や「豊田地区の海士町の海を知る体験ツアー」などを協働で作成し、モニターツアーも実施しました。また、ホテルEntôでは隠岐しぜんむらのガイド付プランを10月から販売を開始し、今年度は2件実施し来年度は既に4件の予約が入っています。

今年度は海外からのツアーのお客様を呼び込むために、隠岐DMO、(株)海士、島ファクトリーのスタッフと一緒に海外の旅行会社を対象とした商談会に2回参加しました。今年度はドイツの会社が隠岐を訪れ、海士町を含めた隠岐のツアーを作成し販売を開始しました。商談会の影響もあり、海外からの問い合わせが増加しているため、来年度からの海外旅行客は増加すると考えられます。

島内者向けには、隠岐ジオパーク推進機構と協働して、ガイドスキルアップ講座の講師を務めました。また、実際にフィールドに出て動植物などについて学びながら、ガイド力や知識の向上を図りました。

(3) 環境教育事業

- ① 海士町教育委員会の委託事業である森のようちえん「お山の教室」の活動は、月曜日～金曜日までの毎日型の開園になり6年目を迎えました。昨年度から引き続き園児は定員14名を上回る15名が在籍して町のニーズはあることが実感できます。

昨年から教育委員会と協議を進めてきた『地方裁量型認定子ども園』に移行については教育委員会と健康福祉課から承諾を得ています。移行するにあたって都市農村交流センターの改修工事必要となります。工事費については海士町の予算が確保できましたが、工事のスケジュール整わず工事は来年延期となりました。

- ② 学校対象の環境教育活動としては、島根県の助成金の活用や(一社)隠岐ジオパーク推進機構との連携により、海士町、西ノ島町内の全小中学校への出前授業を安定的に提供できました。昨年度同様、年間約60日間の講師活動を行うことができました。

高校に対する取り組みとしては、隠岐島前高校や隠岐高校の環境学習の非常勤講師として継続的に関わっています。

- ③ 当団体主催の外来種駆除活動に参加した高校生が、昨年度自主的に立ち上げた環境保全サークルの活動も当団体がメンターとなりながら継続して行いました。今年度は春の野草食体験会、野鳥観察会、植物観察会及び竹の子掘り、無人島漂着ゴミ調査、4回のイベントを実施しました。また、海士町産業文化祭では活動報告として展示を行いました。年間を通じた活動のドキュメンタリーも制作中で、あまチャンネルに協力をしてもらっています。来年度3月に海士町内の放送で放映する予定です。

- ④ 保育園においては昨年に引き続き、西ノ島町みた保育園から島根県緑化推進委員会の自然体験出前講座やジオパーク講師派遣の申し込みがあり、国賀海岸遠足やみたダム林道への散歩に同行し海の生き物観察や山歩きをしながら草花遊びを教える活動をしました。今年度 11 月に島根県三瓶で開催された、「しまね自然子育てフォーラム」に当団体とみた保育園・西ノ島町のシオン保育園の職員も参加し、自然保育について共に学習し、共有する機会となりました。シオン保育園とのつながりもできたことで来年度更に自然保育・環境教育の発展につながることを期待しています。
- ⑤ (一社) 隠岐ジオパーク推進機構主催の 2 泊 3 日の隠岐自然体験学習事業を 2 回行いました (参加者島前コース・島後コース合わせて 66 名)。これまではふるさと教育とジオパーク学習という観点で本事業を行っていましたが、今年度からはジオパーク学習と SDG s 学習の観点を主題に置き、自然体験をして楽しみながら漂着ゴミの問題や竹害の問題など環境学習するというコンセプトで行いました。今後はこの事業を活かして、学校の教育旅行プログラムとして活用していくことを検討しています。

(4) 都市農村交流事業

新型コロナウイルス流行から特に大きな制限がなくなって初めての年である今年度は、流行前に近い宿泊利用があり、昨年の 1.5 倍以上の方に宿泊いただきました。各地の大学の合宿や、町の交流事業に関わる関係者の宿泊を 5 件受け入れました。中には、以前からの常連の大学ゼミ・グループの来島もありました。

自然体験者受け入れにおける施設利用実績は、例年通り堅調です。週 5 日のお山の教室参加者やインターン生に加え、地域間交流や会議の場として研修ホールの利用が伸び、昨年の約 6 倍となりました。

宿泊人数合計：260 名 施設利用人数：125 名 (お山の教室の利用除く)

(5) 地域住民生活支援事業

地元保育園の卒園記念写真の撮影を今年度も継続して実施いたしました。また、地域の野良猫抑制対策のための避妊、去勢手術の援助活動を実施しました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

| 事業名 (定款に記載した事業) | 具体的な事業内容 | (A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数 | (D)受益対象者の範囲 (E)人数 | 収支報告書の事業費の金額(単位:千円) |
|--------------------|---|---|------------------------------------|---------------------|
| 自然環境保全事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の生物調査活動 ・海岸の保全活動 ・外来種生物に対する対策及び駆除活動 | (A) 通年 (B) 隠岐郡内 (C) 4人 | (D) 隠岐郡の住民 (E) 2,400人 | 5,340 |
| エコツアーリズム事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・エコツアーの新メニュー構築 ・住民向けジオパークガイド講座開催のため、推進協議会との協働 ・ガイド育成のための講座における講師 | (A) 通年 (B) 隠岐郡内 (C) 4人 | (D) 隠岐郡内の観光関係者や商店等、来島者 (E) 200人 | 12,822 |
| 環境教育事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の幼児、小中学生、高校生への環境教育活動 ・森林環境学習教室の開催 ・学生、企業、公務員等社会人対象自然環境研修の講師及び助言、補助 | (A) 通年 (B) 隠岐郡内 (C) 13人 | (D) 全国 (E) 2200人 | 28,509 |
| 都市農村交流事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・島内者と島外者の交流活動 ・自然体験者への施設提供 | (A) 通年 (B) 隠岐郡海士町 (C) 4人 | (D) 全国から海士町を訪れる旅行者と地域住民 (E) 220 | 4,240 |
| 地域住民生活支援事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育園記念写真撮影 ・地域野良猫対策の支援 | (A) 通年 (B) 隠岐郡内 (C) 2人 | (D) 隠岐郡の住民 (E) 100人 | 11 |